



ロボット  
自称付喪神の小さな旅

渡来亜輝彦

突然ですが、彼（彼女かもしれない？　とりあえず彼で通しましょう）は一人旅をすることになりました。行先はとりあえず郊外の荒野、一人旅にちょうどいい荒れた大地です。なかなか思い切りました。

彼はアシスタントロボットです。

実は戦闘用人工知能で血も涙もないのですが、普段は相棒であるご主人の栄養管理、情報提供、色々細やかに世話を焼いています。

ご主人は、戦闘以外は基本ダメ男なので、世話を焼くのは大変なのです。

血も涙もないけれど、我ながら気遣いのできるロボットだと思っています。

で、そんな彼が何故急に一人旅に出るのか……

実はご主人のやつと喧嘩しました。

彼はご主人の栄養管理面について、本日の献立など色々提案したのですが、いちいち口うるさいとか言うのです。こんなにご主人のためを思っているのに。



今日の献立  
鯖の塩焼き  
ほうれんそうのおひたし  
豆腐の味噌汁  
ごはん

デザート：みかん

ムカついたので、もう二度と、あのひねくれものでファッションセンスのイカレたやつには、協力してやんないと思いました。

注：ご主人の  
クローゼットの  
中身

そんなわけで、自分がいなくて困ればいい！と思った彼は、荒野に一人旅に出たのです。

言ってしまったえば、家出です。

自分はそこそこ優秀なアシスタントなので、道すがらきつと新しい優しいご主人にも会えるとおもうのでした。





他の最新のアシスタントロボットが、ご主人とお話をしているの  
をみかけました。

彼は旧型なので、基本的に話は主人としかできません。  
こう言う時、あいつは本当に気が利かないな。と思うのです。



早い事自分に声帯つけろよ、とか、いっそのことヒト型にしてろよ、とか思うのです。  
まあ、そんな充実した機能があつたら、もっと早く家出しています。きっと。

荒野にはいりました。ここは怖い化け物も出るらしいですが、まあなんとかなら  
でしょう。見かけだって多分強面のご主人のが怖いです。

荒野は昔人間が住んでいた場所らしいですが、今は荒れ果てているのです。普段は  
ご主人と探索していますが、今日は一人(?)でお散歩です。  
正直、楽しみです。



こう見えても移動には自信があります。省エネ  
仕様だし、それなりに移動速度だって速いのです。  
早速見慣れない家を見つけたので中を覗いて  
みます。人がいなくなっただけいぶん経っている  
ようです。

家の中には古道具がたくさん。  
持ち主がいなくなってもそこに残されています。  
なんとなく彼は道具をじっと眺めています。

彼は機械ですが、機械になる前は道具だった気が  
しています。

遠い遠い昔のことですが、記憶がある気がします。  
だから、彼は自分のことは付喪神だと思っ  
ていますが、それは定かではありません。

とにかく彼はもともと道具だったので人間と付き合い  
すぎ、見かけより感情が人間的なのです。  
なので、持ち主がいなくなったままの道具を見ると、  
なんとなく感慨にふけてしまうのです。



思えばこの姿になるまでは、一人旅など思いも  
よりませんでした。道具の旅とは、人から人へと受  
け渡されるものなのです。好きな場所に好きな人と  
いけるものではないのでした。

今はご主人と一緒にいますが、ご主人が連れ歩い  
てくれるので一緒に旅ができます。

時々行きたい場所も聞いてくれます。

新型に乗り換えずに使ってくれているご主人が  
まんざら悪いやつではない気がしてきました。

彼は急にご主人のことが心配になってきました。  
自分が管理してあげないと、ますます自堕落な  
生活を送りそうです。

そう思い始めると、同時に急に広い荒野で心細く  
なってきました。

このままだと、ここの道具たちの  
仲間入りして、そのまま朽ち果ててしまいそうな気  
もします。

寂しくなつてとぼとぼと帰り道をたどります。  
彼には一人旅はまだちょっと早いみたい。  
そうすると途中でご主人と出会いました。心配で  
迎えに来てくれたようです。意外といいところか  
あります。

やっぱりご主人と一緒にいるほうが楽しいです。  
仲直りできたから、今度はご主人と一緒に  
同じ場所を探検しようと思いました。  
彼はそれを楽しみにしています。

終

ロボット  
自称付喪神の小さな旅  
渡来 亜輝彦

バーバーウェル05 「旅」

2020.11.21発行

twitter:@fourdart

